

島根県における 国際水準 G A P の取組

～美味しまね認証を核とした G A P の推進～

令和4年10月

島根県農林水産部産地支援課

GAPとは？

- **G A P** (Good Agricultural Practice) とは？
「よい農業のやり方」 (日本語直訳)
「農業生産工程管理」 (農林水産省の日本語訳)
- 「食品安全」「環境保全」「労働安全」「人権・福祉」「農場運営」について生産者が守る対策を**ルールとして定め、点検・記録し、改善する取組**のこと
- **G A P**に取り組むことで、食品事故や農業事故等の**リスクを最小限にとどめる**ことが可能となる
- **G A P**認証は、第三者機関の審査により、**G A Pが正しく実践されていることが確認された証明**のこと。認証を取得することで、**G A Pを実施していることが客観的に証明される**
- **G A P**認証は「農場管理の善し悪し」を「見える化」するもの

GAPの実践例

～GAPは必ずやらなければならないこと～

- 農業者としてやらなければならないことがGAPの実践内容です。

生産計画書					
農場名				作成者名	
圃場名・番号				栽培面積	
作物名				品種名	
栽培スケジュール					
ビニール被覆予定日			加温開始日	発芽予定日	
月 旬	1月	2月	3月	4月	
作 型	○-----○-----●-----●-----				
主な作業内容	-----				

生産計画書の作成



整理整頓

年度作 (定植日) / 7/29	農産物種名	数量	肥料・農薬類	対象	防除記録
8/15	トマト×300(1/3)	300	ペンチープ×1000	コナジラ	○(✓)
8/16	ナス×300(1/3)		ペンチープ×1000	コナジラ	()
8/18	キュウリ×300(1/3)		ペンチープ×1000	コナジラ	()
8/19	ピーマン×300(1/3)		ペンチープ×1000	コナジラ	()
8/20	ナス×300(1/3)		ペンチープ×1000	コナジラ	()
8/21	ナス×300(1/3)		ペンチープ×1000	コナジラ	()
8/22	ナス×300(1/3)		ペンチープ×1000	コナジラ	()
8/23	ナス×300(1/3)		ペンチープ×1000	コナジラ	()
8/24	ナス×300(1/3)		ペンチープ×1000	コナジラ	()
8/25	ナス×300(1/3)		ペンチープ×1000	コナジラ	()
8/26	ナス×300(1/3)		ペンチープ×1000	コナジラ	()
8/27	ナス×300(1/3)		ペンチープ×1000	コナジラ	()
8/28	ナス×300(1/3)		ペンチープ×1000	コナジラ	()
8/29	ナス×300(1/3)		ペンチープ×1000	コナジラ	()
8/30	ナス×300(1/3)		ペンチープ×1000	コナジラ	()
8/31	ナス×300(1/3)		ペンチープ×1000	コナジラ	()

農薬使用簿



農薬保管庫



廃プラスチック類

- ビニール ●塩ビパイプ
- シート類 ●発泡スチロール
- 合成ゴムくずなど

ゴミの適切な処理

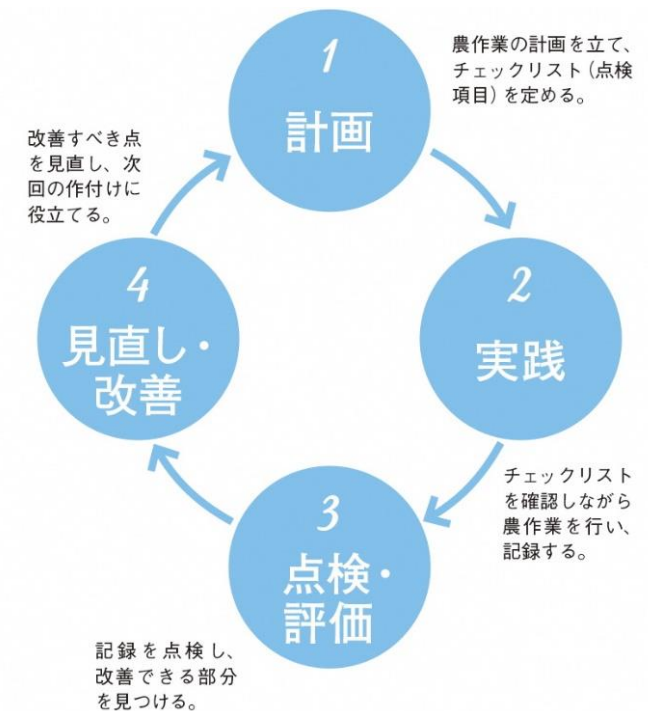


注意喚起

GAPは必要不可欠な取り組み

～農業経営改善の最強ツール～

- GAPは経営上のリスク対策、生産コスト削減、作業効率の向上、農作業安全・労働環境の改善等を通じて**農業経営の改善に有効な取り組み**です。
- 反収や製品率の向上、作業の効率化といった経営改善においては、PDCAサイクルを回し続けることが重要です。**GAPに組み込み記録を取ることで作業のムダや栽培における失敗要因等を振り返ることができ、次期作以降の営農に活かすことができます。**
- 生産コスト削減や作業効率の向上等、GAPに取り組むことで生まれる直接的な経営改善に加えて、GAPによる記録を活用した経営改善活動やスマート農業等、**様々な農業経営の改善につなげることができる経営改善最強のツール**となります。



GAPは必要不可欠な取り組み

～独りよがりではない安全・安心の証～

- GAPの実践は生産者自らの取り組みで、自己点検によるPDCAサイクルによる農業経営改善は可能ですが、客観的な視点はありません。
- GAP認証を取得することで、**食品安全・環境保全・労働安全・人権保護**に取り組んでいることが客観的に証明されます。



島根県観光キャラクター「しまねっこ」 島観連許諾第1830号

消費者にも人気の美味しまね認証マーク

- **第三者機関の審査**により確認された証明であり、消費者に対しても**安全・安心な農産物生産の証**となります。
- GAP認証は「見えない価値」の「見える化」とも言われています。

食品安全、環境保全、労働安全、人権保護

GAPは必要不可欠な取り組み

～流通販売業界から求められる農産物の最低条件に～

- 今後求められる水準は「国際水準GAP」となり、流通業界におけるGAPの需要はますます高まる見込みです。

【イオン】

イオンアグリ創造（株）が運営するイオンの直営農場では、GLOBALG.A.P.認証を取得。イオンのプライベートブランド「トップバリュ」では、GFSIをベースとしたGAPを用いた管理の100%実施をめざす。



【イトーヨーカドー】

オリジナルブランドである「顔が見える野菜。果物。」



の生産者に環境に配慮し
持続的な安定経営の更なる確立の為に
GAP認証を推奨

【日本コカコーラ】

2020年までに、清涼飲料の原材料となる主要な農産物を持続可能な供給源から100%調達



【伊藤園】

契約取引にて生産される荒茶について、JGAP、ASIAGAP、GLOBALG.A.P.などの第三者認証を必要とするGAPを取得した原料のみを使用



GAP認証農産物に関心を有する実需者

③推進・支援

➤ 農林水産省は、GAP認証農産物を取り扱う意向を有する実需者を「GAPパートナー」として募集し、HPに掲載。実需者・消費者の理解促進・需要喚起のため、実需者と産地の関係構築を推進（令和4年6月13日時点：61社）

										
										
										
										
										
						<p>「GAPパートナー」の取組やお問い合わせ先等の詳細情報については、GAP情報発信サイト「Goodな農業！GAP-info」に掲載しております。</p> <p>Goodな農業！GAP-info </p> 				

GAPとSDGs

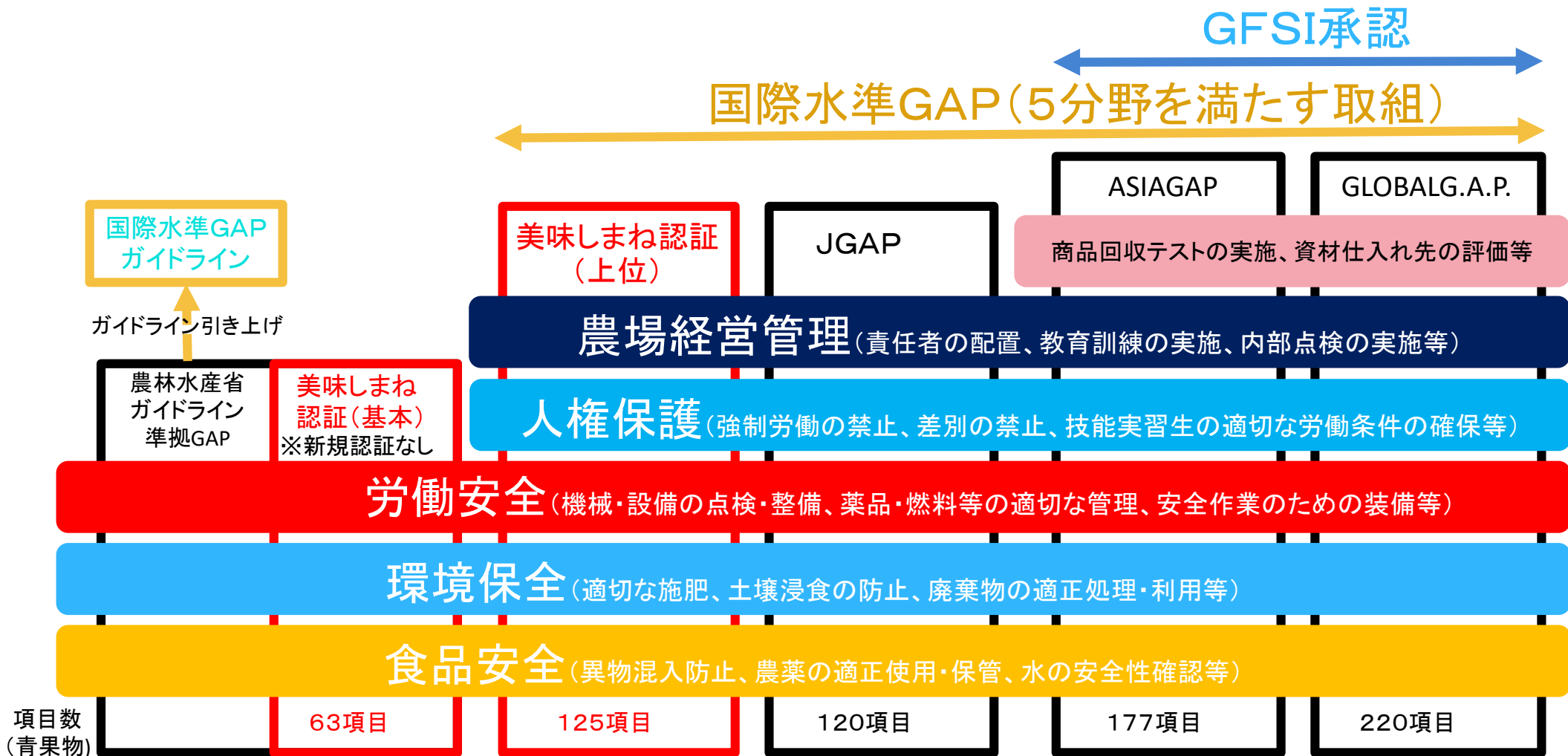
①必要性

GAPの取組を通じたSDGsへの貢献

国際水準GAPの5分野	持続可能な開発目標 (SDGs) とターゲット
食品安全	2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する (2.1、2.4) 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する (3.9) 12. 持続可能な生産消費形態を確保する (12.4)
労働安全	2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する (2.4) 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する (3.6) 8. 包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク) を促進する (8.5、8.8)
環境保全	2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する (2.4) 3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する (3.9) 6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する (6.3、6.6) 7. すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する (7.2、7.3) 9. 強靱 (レジリエント) なインフラ構築、包括的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る (9.4) 12. 持続可能な生産消費形態を確保する (12.2、12.4、12.5) 13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる (13.1、13.3) 14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する (14.1) 15. 劣化した土地を回復し、土地劣化に荷担しない世界の達成に尽力 (15.1、15.3、15.8)
人権保護	2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する (2.4) 5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う (5.1、5.5) 8. 包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク) を促進する (8.5、8.7、8.8)
農場経営管理	2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する (2.4) 4. すべての人々への、包括的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する (4.4) 8. 包括的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク) を促進する (8.5、8.8) 12. 持続可能な生産消費形態を確保する (12.8) 13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる (13.1) 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する (17.17)

国内におけるGAP

～美味しまね認証の位置づけ～



島根県のGAPの推進

～島根県農林水産基本計画（令和2年4月策定）～

■美味しまね認証を核としたGAPの推進

令和6年度目標

主たる担い手（認定農業者＋認定新規就農者）に占める**国際水準GAP**
認証者数を5割以上

○流通・販売側から高く評価されるGAPの取組推進

マーケットが求めるGAPの高度化への対応、担い手の生産・経営体制の強化を図るため、認定新規就農者、認定農業者、集落営農法人等の**担い手や産地を重点推進対象**とし、「**美味しまねゴールド**」を含む「**国際水準GAP**」（GLOBALG.A.P、ASIAGAP、JGAP等）認証取得を進めます。

<進め方のポイント>

(1) 認定新規就農者等の担い手のGAP認証取得推進

認定新規就農者や認定農業者等の担い手が当たり前のように「国際水準GAP」を取得する環境づくりを推進

(2) 団体認証の推進

販売面のメリットを発揮できる産地や生産者グループ全員による団体認証を推進

(3) 指導・審査体制の整備

GAP指導員の育成、地域GAP協議会による認証取得支援の強化、外部機関による審査体制の構築

(4) GAPに取り組むメリットが実感できる販売環境の構築

キャンペーンの実施や「美味しまねパートナー企業(県外)」や「サポーター企業(県内)」の取組を通して販路拡大を重点的・優先的に支援



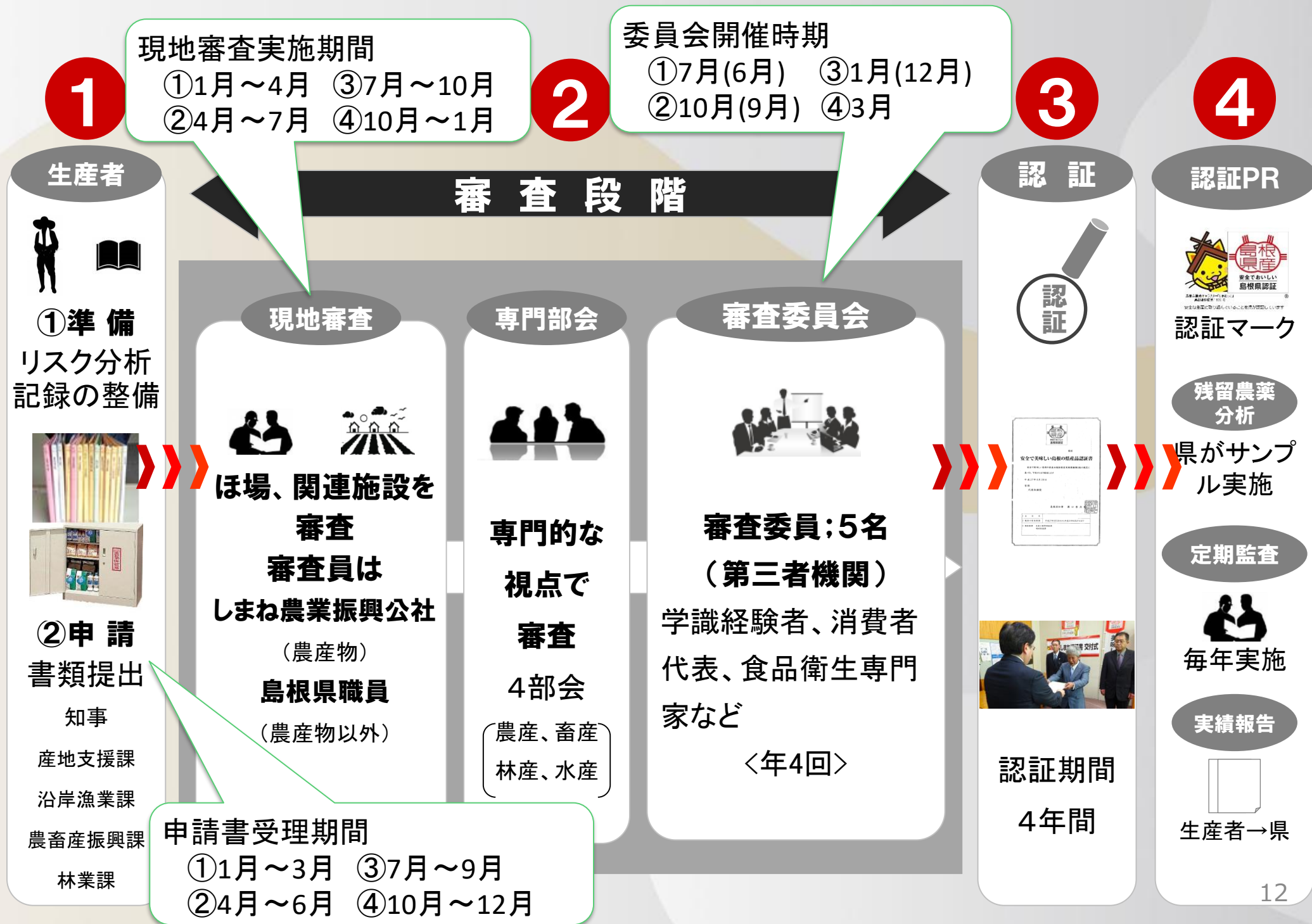
島根県観光キャラクター「しまねっこ」 島根連計第1830号

美味しまね認証制度



- ◆ 正式名称 安全で美味しい島根の県産品認証制度
＝通称「美味しまね認証」
- ◆ 目的 島根県内で生産される農林水産物の
「高い安全性」と「品質の確保」
- ◆ 県が定めたGAP基準に基づく取組を実施している農林水産物を知事が認証（島根県独自のGAP認証制度）
- ◆ 制度沿革
 - 平成21年 1月 制度創設
 - 平成28年11月 2020年東京オリパラ大会食材調達基準準拠確認
 - 平成31年 1月 新たな上位認証基準「美味しまねゴールド」を制定
 - 令和 2年 4月 新規認証は「美味しまねゴールド」のみとなる
 - 令和 4年 6月 国際水準GAPガイドライン準拠確認（全国第1号）
 - 令和 6年 4月 「美味しまねゴールド」に一本化

(参考: 美味しまね認証までの過程)



審査・手続き等

～ J G A P と美味しまね認証の比較～

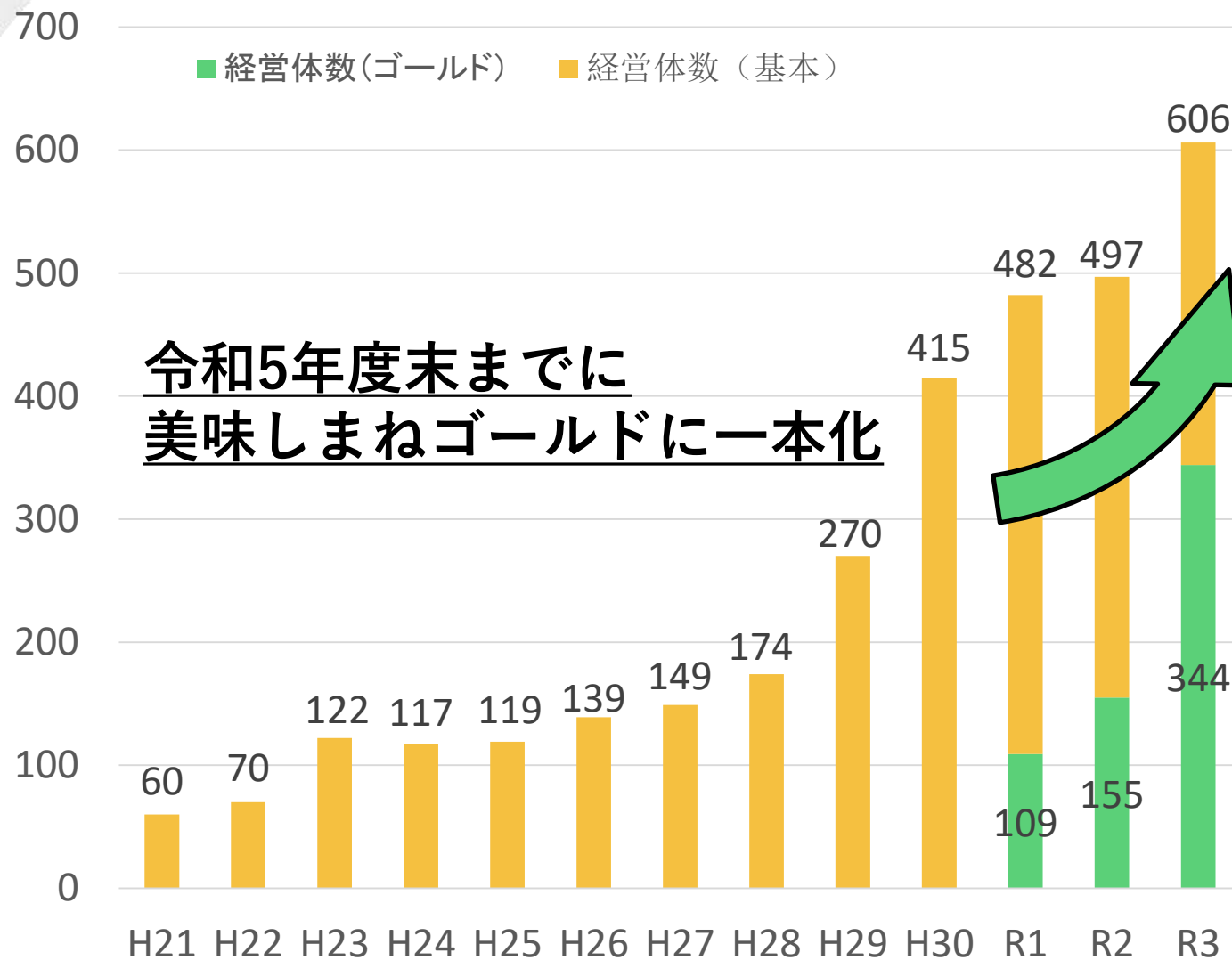


内容	美味しまね認証	J G A P
認証の種類	個人認証・団体認証	個別認証・団体認証
適合基準 (青果物項目数)	必須・努力 (1 2 5)	必須・重要・努力 (1 2 0)
認証の有効期間等	4年間	2年間
審査のタイミング	①審査 (初回) ②定期監査 (年1回、審査委員会審査あり) ③更新審査 (有効期限内の審査委員会の2ヶ月以上前まで)	①初回審査 (初回) ②維持審査 (2年目) ③更新審査 (更新時・有効期限の6ヶ月前まで)
審査方法	①現地審査 (農産物は委託先のしまね農業振興公社) ②是正 (→是正報告) ③専門部会による審査 ④審査委員会による審査 ⑤知事による認証	審査・認証機関による ①審査 ②是正処理要求 (→是正処理報告) ③認証判定 (認証書発行)

美味しまね認証取得状況



■美味しまね認証経営体数の推移



■内訳(経営体数・おもな品目)

	経営体数	団体認証数
農産物	485(245)	19(6)
畜産物	19(6)	
林産物	106(92)	3(2)
水産物	2(2)	
計	606(344)	22(8)

※()はゴールドの経営体数(内数)
※農林水産間の重複あり

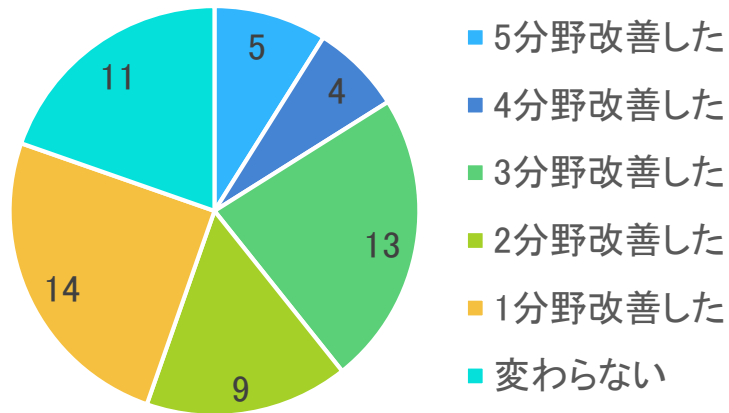
- 農産物 米、ブロッコリー、キャベツ
トマト、アスパラガス、葉物野菜、
ブドウ、メロン、イチゴ等
- 畜産物 卵、肉用牛、生乳
- 林産物 しいたけ、きくらげ、エリンギ等
- 水産物 イワガキ

GAPに取り組んでよかった

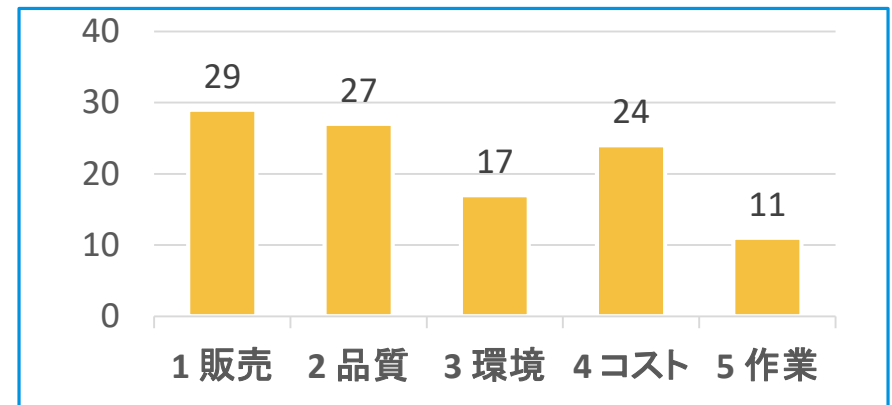
～GAP認証取得者の声～

■ GAPに取り組んだ80%の生産者が経済的効果ありと回答 (H30年美味しまね認証アンケート)

認証による改善の状況 (n=55)



改善内容の内訳



分野	1 販売	2 品質	3 環境	4 コスト	5 作業
項目	売り上げが伸びた	単収が向上した	農薬投入量が減少した	資材の不良在庫が減少した	作業時間が短縮した
	販路が拡大した	品質が向上した	肥料投入量が減少した	生産コストが削減した	作業遅延が減少した
	販売単価が上がった	クレームが減少した		商品の欠品や在庫が減少した	

■ GAPに取り組む前と後の意識の変化あり (R3年度聞き取り調査)

- ・作業員全員の意識向上に繋がった。(法人)
- ・農薬の使用についてより一層注意するようになった。
- ・GAPに関係する事項(農薬等)について気にするようになった。
- ・より一層の関係機関、販売先等からの注目や協力を得られるようになったと感じる。
- ・JA職員及び生産者の意識やレベルが向上したのではないかと感じる。
- ・組合活動の必要性や活性化がさらに得られた。(一元化)

美味しまね認証製品の販路拡大の取組

GAPに取り組むメリットが実感できる販売環境の構築

GAP・美味しまね認証製品の取り組みを評価し、取引・支援いただける県内外の流通・販売事業者を「パートナー企業（県外）、サポーター企業（県内）」と位置付け、販路を確保

○パートナー企業
伊勢丹新宿店

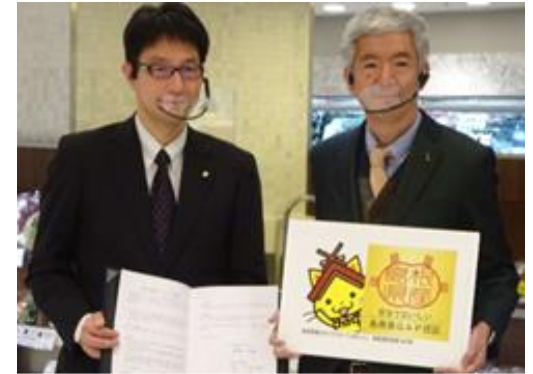
○サポーター企業
小売、卸、飲食・宿泊事業者 計28事業者



美味しまねパートナー企業

～伊勢丹新宿店～

- 令和2年12月16日～パートナーシップ協定締結
- 『美味しまね認証産品』主体に取引（青果部門）
- 百貨店部門以外に高質スーパーマーケットの
クイーンズ伊勢丹17店舗展開
- 他にはないもの、本当によいものを全国から集める
- 顧客は富裕層
- 伊勢丹×島根県の新企画を実施中
お客様×生産者オンライン交流、食品フロアでの飲食メニュー提供
伊勢丹×JALコラボレーション 等









美味しまねパートナー企業

～伊勢丹新宿店～

○マーケットニーズに応じた商品パッケージの変更



- ・生産者が一目で分かるようなロゴが欲しい
- ・どんな品目が入っているか分からない



美味しまね認証サポーター企業 ～県内流通関係～

○美味しまね認証サポーター企業（小売12、卸15、宿泊1）

小売店等へのGAP・美味しまね認証の理解促進
⇒美味しまね認証製品の販売環境を強化

【取組事例】

- ・小売店バイヤーや従業員向けの出前講座
- ・生産者とマッチングするための産地訪問
- ・消費者に向けた販売コーナー設置支援



生産者・産品情報発信



社員向け出前講座



産地訪問・商談



販売コーナー設置

美味しまね認証サポーター企業 ～県内流通関係～

市場卸売業者

- 場内でのポスター設置等による関係者への周知
- 学校給食等への認証産品導入
- 営業担当への出前講座

卸・仲卸業者

- 学校給食等への認証産品導入

小売店

- 青果担当等への出前講座
- 産地訪問・ミニ商談
- 資材設置 等

宿泊施設・飲食店

- 個々の取組を線でつなげる
- 各業種でGAP認証産品を求める流れづくり



生産側

消費側

学校給食への食材活用

- 目的：県民が、県産農産物の良さを実感できるように、学校給食を通じた販売環境づくりや理解促進に取り組む
- 方法：県食材コーディネーター（3名）が各市町村関係機関と連携し、県産食材の活用推進、県保健体育課と連携し食育教材の作成・配布

○実績：

給食月間	産品全体		
	全体	美味しまね	有機農産物
R2.11	16市町村 267校	16市町村 265校	4市町 51校
R3.6	19市町村 274校	19市町村 270校	5市町 60校
R3.11	19市町村 269校	19市町村 268校	10市町村 71校

